

世界最大の収集品オークションハウス  
「ヘリテージ・オークションズ」

「スター・ウォーズの日」恒例の「スター・ウォーズ シグネチャー・オークション」出品の希少アイテム展示

## 『スター・ウォーズ』展 in 銀座三越

3月11日(水)～3月17日(火)にて開催決定

『マンダロリアン・ヘルメット』、『ストームトルーパー・ヘルメット』のほか  
『大型ミレニアム・ファルコン号レプリカ』などの博物館級のアイテムも！

ヘリテージ・オークションズ（本社：米国テキサス州）は、5月4日の「スター・ウォーズの日」に合わせて毎年アメリカにて開催される「スター・ウォーズシグネチャー・オークション」に出品予定の希少なアイテムの一部を事前に日本でご覧いただける無料展示イベント『スター・ウォーズ』展 in 銀座三越を2026年3月11日（水）から17日（火）までの間、銀座三越の本館1階にて10:00～20:00で開催いたします。

今回の『スター・ウォーズ』展では、1977年の歴史的な第一作からディズニー時代の続三部作、さらにはその先へと続く約半世紀にわたるシリーズの歩みを辿りながら、博物館級の映画小道具や歴史的コレクティブルを一堂に集め展示します。展示終了後、これらの貴重なアイテムは、世界中の『スター・ウォーズ』ファンにとって象徴的な日である5月4日（スター・ウォーズの日）に、ヘリテージ・オークションズがアメリカで毎年開催している「スター・ウォーズ シグネチャー・オークション」に出品されます。



Imaged by Heritage Auctions, HA.com



Imaged by Heritage Auctions, HA.com



Imaged by Heritage Auctions, HA.com

本展の目玉となる展示品の一つは、インダストリアル・ライト&マジック（ILM）社が1976～77年に制作した全長約1.5メートルの撮影用ミニチュアを精緻に再現した、ミュージアム品質の大型ミレニアム・ファルコン号レプリカです。ILM 伝説のモデルショップと同様の技法を用いて丹念に制作され、『スター・ウォーズ』（1977年）公開当時の姿（『帝国の逆襲』制作時に施された改修以前の状態）を忠実に再現しています。

また今回、ミレニアム・ファルコン号レプリカとともに展示されるのは、実際に撮影で使用されたプロップおよび歴史的コレクティブルの数々です。『マンダロリアン』シーズン1の撮影時に使用された、風化したベスカー鋼を思わせる仕上げが施された、マンダロリアン（マンドー）ことデイン・ジャリンを象徴するアイテムである『マンダロリアン』シーズン1撮影使用ヘルメットやJ・J・エイブラムス監督と衣装デザイナーのマイケル・カプランにより刷新された、洗練されたデザイン撮影使用ヘルメットである「ファースト・オーダー ストームトルーパー・ヘルメット」、さらにはハリソン・フォードが伝説の密輸業者を最後に演じた際に使用された武器である「ハン・ソロのDL-44ブラスター」など、世代を超えて進化を続ける『スター・ウォーズ』の軌跡を辿るものです。

展示会終了後、本コレクションは5月4日に「スター・ウォーズ シグネチャー・オークション」にて出品されますので、世界中のコレクターにとって、“はるか彼方の銀河系”の逸品を手にとることができるかもしれないチャンスとなります。また、このオークションには、日本からも参加が可能です。

## ● 展示アイテムご紹介 (一部) ●

## ★ミレニアム・ファルコン号 高精度大型レプリカ★

本作は、1977年公開の『スター・ウォーズ エピソード4/新たなる希望』製作時にインダストリアル・ライト&マジック (ILM) が使用した全長約152cmの撮影用ミニチュアを、極めて高い精度で再現した大型レプリカです。これまでに制作された同モデルの再現作の中でも特に忠実度が高い作品の一つとして評価されており、その正確性、工作技術、歴史的再現性については、ILMのベテラン関係者およびアカデミー映画博物館より高い評価と検証を受けています。



本レプリカは、『スター・ウォーズ エピソード4/新たなる希望』(1977年) 公開当時の仕様を再現したものであり、『帝国の逆襲』制作時に施された大規模な改修以前の状態を忠実に反映しています。オリジナルの ILM 製ミニチュアは現在、ルーカスフィルム・アーカイブに改修後の姿でのみ現存しているため、1977年当時の構成を正確に再現した個体は極めて希少です。

制作は ILM モデルショップと同様の手法を用いた完全手作業によるもので、スチール製アーマチュア構造、特注ブローモールド・アクリル製ドーム、精密なスチレン加工構造、そして高度なキットバッシング技法を採用しています。本制作のために170以上のヴァンテージ模型キットが分解使用され、3,000点を超えるパーツが組み込まれました。多くのキットは複数個使用され、完全一致を追求しています。

オリジナル ILM 撮影用ミニチュアの高解像度制作資料写真および舞台裏写真をもとに、ネル構成、表面ディテール、プロポーション、ウェザリング、バトルダメージに至るまで精密に再現。長年にわたる研究により、オリジナル模型に存在するほぼすべての装飾用部品の特定と調達が行われました。塗装、汚し加工、ダメージ表現、デカールに至るまで1977年当時の撮影状態を忠実に踏襲しています。

実際の撮影使用ミニチュアではありませんが、映画史および視覚効果史において最も象徴的な立体モデルのひとつを、博物館級の精度で再現した極めて重要なレプリカです。主要ハリウッド機関での展示歴を有する本モデルは、スター・ウォーズおよび視覚効果史を語る上で重要な存在であり、大型撮影用ミニチュアや高水準レプリカを求めるコレクターにとって、事実上“最もオリジナルに近い”希少な再現モデルといえます。

## ★『マンダロリアン』(ルーカスフィルム社、2019年～現在) 接写撮影用 マンダロリアン・ヘルメット★



本アイテムは、『マンダロリアン』シーズン1において、孤高の賞金稼ぎ“マンダロリアン”(ベドロ・パスカル) が着用したオリジナル仕様(接写撮影用)ヘルメット。ファイバーグラスレジン製で、マンダロアの希少金属ベスカ鋼を想起させる質感を再現するため、スタジオにより精巧なメタリック塗装が施されています。

その滑らかな金属的外観に加え、『スター・ウォーズ』世界の荒廃した宇宙観に調和するよう、経年変化を表現した加工が施されています。内側にはブラックのパッドフォームが張られ、右下付近には「Legacy Effects」のパッチが縫い付けられています。サイズは約26×20×27センチ。

## ★『スター・ウォーズ／フォースの覚醒』（ウォルト・ディズニー、2015年）

## ダイジー・リドリー演じる「レイ」使用 アクション用ジャクー・クォータースタッフ★

本アイテムは、ディズニーによる新たなスター・ウォーズ三部作の第1作『スター・ウォーズ／フォースの覚醒』（2015年）において、レイ（ダイジー・リドリー）が使用したオリジナルのアクション用クォータースタッフです。



Imaged by Heritage Auctions, HA.com



Imaged by Heritage Auctions, HA.com



Imaged by Heritage Auctions, HA.com

寄せ集めの素材から作られたこの武器は、惑星ジャクーで廃品を集めて生き延びてきたレイの創意工夫と不屈の精神を体現しています。

ディズニー三部作におけるレイの初登場シーンから使用され、後に『スター・ウォーズ／スカイウォーカーの夜明け』で、自らのスタッフのパーツを再利用して黄色のブレードを持つライトセーバーを完成させるまで、レイの歩みと深く結びついています。それ

は、過酷な環境を生き抜くスカベンジャー（廃品回収業者）からジェダイ・マスターへの転換を象徴する重要な瞬間でもあります。

本品は撮影の大部分で使用する為に精巧に作られた軽量アクション仕様で、硬質ポリフォームおよびポリウレタン製。回収品から組み上げられた手製の武器を思わせるよう、ダークメタリック調の仕上げが施されています。サイズは約 182×6 センチ。多様な色と質感の布巻き装飾に加え、レザー製カフおよびロブスタークラスプで固定されたストラップを備えています。

続三部作の主要キャラクターの一人を象徴とする本品は、撮影現場での使用による軽微な擦れや、布製ハンドル部分への経年劣化を表現した加工など、映画の制作過程を物語る痕跡が節々に見られます。

## ★『スター・ウォーズ／フォースの覚醒』（ウォルト・ディズニー、2015年）

## ピーター・メイヒュー／ヨナス・スオタモ演じる「チューバッカ」使用 スタント用ボウキャスター★



Imaged by Heritage Auctions, HA.com



Imaged by Heritage Auctions, HA.com

本品は、『スター・ウォーズ／フォースの覚醒』（2015年）において、シリーズ屈指の人気を誇る「チューバッカ」が使用したオリジナルのスタント用ボウキャスターで、チューバッカを象徴する代表的な武器です。

高密度ラバー製で、メタリック塗装仕上げ。弓の両端には鋳造ラバー製の球状パーツが取り付けられ、前面構造部には強度確保のため金属のパーツが組み込まれています。全体サイズは約 78×81×24 センチ。金属クリップで本体に固定されたグリーンのキャンバス製ストラップが付属します。

劇中では、ミレニアム・ファルコン号内のシーンをはじめ、惑星タコダナのマズ・カナタの城への襲撃、さらにスターキラー基地でのクライマックスシーンにおいて、チューバッカがこの象徴的なボウキャスターを構える姿が確認できます。

『フォースの覚醒』は、長年にわたりチューバッカを演じてきたピーター・メイヒューにとって最後の長編出演作となり、その後のシリーズではヨナス・スオタモが役を引き継ぎました。

撮影使用に伴うごく軽微な擦れなど、撮影に伴う使用感が確認できます。また、2基のスコープにはごく僅かな位置ずれが見られ、いずれも制作および撮影過程を示す痕跡です。

## ★『スター・ウォーズ／フォースの覚醒』（ウォルト・ディズニー、2015年）

## ハリソン・フォード演じる「ハン・ソロ」使用 アクション用 DL-44 ブラスター★

ハン・ソロ（ハリソン・フォード）が使用した、オリジナルのアクション撮影用スタティック・プロップ・ブラスター。鋳造レジン製で、銃身本体にはメタリック塗装、グリップにはメタリック調および木目調の塗装仕上げが施されています。サイズは約 31×17×7 センチ。

ハン・ソロの愛銃として知られる DL-44 は、『フォースの覚醒』においても随所で登場します。ミレニアム・ファルコン号船内、エラヴァナ号でのカンジクラブとの対峙、タコダナでの戦闘、そしてスターキラー基地での最終局面に至るまで携行され、ハン・ソロ（アダム・ドライバー）との対面という物語上の重要な場面にも立ち会いました。

オリジナル三部作版との顕著な相違点として、本作では銃口先端がシルバーではなくブラック仕上げとなっている点が挙げられます。これは続三部作におけるデザイン上の特徴のひとつです。意図的なディストレス（エイジング）加工が施されており、使用による軽微な擦れや小傷など、制作由来の使用感が見られます。

## ★『スター・ウォーズ／フォースの覚醒』（ウォルト・ディズニー、2015年）

## ファースト・オーダー ストームトルーパー ヘルメット★

J・J・エイブラムスが監督を務めた『スター・ウォーズ／フォースの覚醒』に登場した、**新生ファースト・オーダーのストームトルーパーが実際に着用したオリジナル・ヘルメット**です。旧銀河帝国軍トルーパーの伝統的なデザインを踏襲しつつ、現代的な再解釈が加えられた刷新モデルです。



衣装デザイナーのマイケル・カプランは、「従来のデザインでは洗練された現代の観客には通用しない」と考え、エイブラムスとともにクラシクなヘルメットを再構築しました。その結果、より光沢を帯びた滑らかなフォルムと、拡張されたバイザーおよびグリルを備えるデザインが誕生しました。これらは、作中設定上、更新された戦術ディスプレイやガス・毒物耐性フィルター機能を想定したものとされています。

素材には、旧三部作で使用された真空成形 ABS 樹脂ではなく、耐久性に優れた鋳造ポリウレタンを採用。制作工程では 3D デザイン、3D プリント、インジェクション成形などの技術が使われました。

特徴として、通気孔付きサイド、左側のメタリック・エアレーター、上部マウントクリップ、アイホール部のブラックアクリルレンズ、ブロー部および後部下端のブラックストライプ、ブラックメッシュ製マウスグリルなどを備えています。サイズは約 34×29×31 センチ。内装パッド付きキャリングケース（約 35×34×34 センチ）付き。

つきましては、**ヘリテージ・オークションズの『スター・ウォーズ』展 in 銀座三越 開催決定！**の情報につきまして、貴媒体でのご紹介をご検討頂けますと幸いです。

## 【開催概要】

## 『スター・ウォーズ』展 in 銀座三越

会場 : 銀座三越 本館 1 階（東京都中央区銀座 4 丁目 6-16）  
開催日時 : 2026 年 3 月 11 日（水）～3 月 17 日（火） 10:00～20:00  
料金 : 無料  
展示物 : 「スター・ウォーズ」シリーズの映画の小道具や SW ゆかりの品、コミック等

## 【ヘリテージ・オークションズ（Heritage Auctions）について】



ヘリテージ・オークションズは、米国で設立された最大の美術品・収集品オークションハウスであり、最も高いオンライントラフィックと取引額を誇る、世界最大の収集品オークションアワードです。（Similar Web および Hiscox Report より）ニューヨーク、ダラス、ビバリーヒルズ、シカゴ、パームビーチ、ロンドン、パリ、ジュネーブ、アムステルダム、ミュンヘン、香港、東京にオフィスを構えています。

オフィシャルのウェブサイトでは、200 万人以上のオンライン入札会員を擁しております。約 700 万点以上の商品の写真や詳細を遡って検索することが出来ます。また、無料のオンラインアカウントをご登録いただくことで、700 万点を超える落札実績をご覧いただけます。（※メディア関係者には、写真のクレジットを明記することで複製権が付与されます。）

2024 年に東京オフィスを開設し、オークション参加、出品、査定、輸送手配などについて、日本語でのサポートを提供しています。

本リリースやオークションに関してご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

ウェブサイト : <https://www.ha.com/tokyo>

※本件のプレスキットは右記 URL からダウンロードできます。 <https://x.gd/MwGEK>

## &lt;この件に関するお問い合わせ先&gt;

Heritage Auctions Japan 広報事務局（株式会社フロンティア・エンタープライズ 内）

担当／中園・千代

TEL.03-5565-1121 FAX.03-5565-1261 [HeritageAuctions-PR@frontier-e.co.jp](mailto:HeritageAuctions-PR@frontier-e.co.jp)